

ドラッグインフォメーション

平成 30 年 4 月改訂

販売名	無水エタノール「ヨシダ」		製造販売	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 無水エタノール				
洋名	Dehydrated Ethanol		発売年月	1961 年 1 月	
一般名	無水エタノール		薬価収載年月	1961 年 1 月	
剤形	液 剤		薬 価	10mL 22.40	健保適用
規制区分	普通薬 局方		日本標準商品分類番号		872615
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	2615704X1013		YJコード		2615704X1358
構造式	分子式・分子量: C ₂ H ₆ O 46.07 CH ₃ CH ₂ OH		性 状	無色澄明の液で、特異なにおい及びやくような味がある。水又はジエチルエーテルと混和する。燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。揮発性である。	
組成	エタノール 99. 5v/v%以上				
効能効果	手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒。				
用法用量	本剤を精製水でうすめて 76.9~81. 4v/v%とし、これを消毒部位に塗布する。				
薬物相互作用	無機塩類、アラビアゴム、強酸化剤(クロム酸、過マンガン酸カリウム)はエタノール含量 35%以上になれば沈澱する。				
薬理作用	本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。				
毒性	最小致死量 (エタノールとして) i.v.:ウサギ 9.4g/kg, ネコ 3.9g/kg				

使用上の注意	<p>1. 禁忌(次の部位には使用しないこと) 損傷皮膚及び粘膜(刺激作用を有するので)</p>								
	<p>2. 重要な基本的注意 (1)本剤が眼に入らないよう注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。 (2)広範囲または長期間使用する場合には蒸気の吸入に注意すること。 (エタノール蒸気に大量または繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起すことがある)</p>								
	<p>3. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。</p> <table border="1"> <tr> <td>種類／頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>過敏症状 注)</td> <td>発疹等</td> </tr> <tr> <td>皮膚 注)</td> <td>刺激症状</td> </tr> </table> <p>注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。</p>			種類／頻度	頻度不明	過敏症状 注)	発疹等	皮膚 注)	刺激症状
種類／頻度	頻度不明								
過敏症状 注)	発疹等								
皮膚 注)	刺激症状								
	<p>4. 適用上の注意 (1)投与経路 外用にのみ使用すること。 (2)使用時 1)同一部位に反復使用した場合には脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。 2)本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。 3)合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。 4)本剤は、引火性、爆発性があるため、火気に注意すること。また電気メスを使用する場合は、乾燥させてから使用すること。</p>								
	<p>4. その他の注意 承認外の経皮的エタノール注入療法 (PEIT) 使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。</p>								
取り扱い上の注意	貯法: 遮光した気密容器にいれ、火気を避けて保存。								
備考	アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性 火気厳禁 包装単位: 500mL, 16L	文献	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10 TEL (03)3381-7291						